

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第12回 水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日時 2010年8月26日(木) 15:00~17:00
2. 場所 日本原子力技術協会 A・B会議室
3. 出席者 (順不同、敬称略)
(出席委員) 勝村(主査)、内田(副主査)、中村(幹事)、水野、平野、高松、中村(武)、岡田、久宗、高木、大橋、佐藤、篠原、荘田 (14名)
(代理出席委員) 實重(菅井委員代理) (1名)
(欠席委員) 上野、寺地、会沢 (3名)
(常時参加者) 松浦、石原、金岡、河合、市川、竹田、西村、甲川 (8名)
(代理出席常時参加者) 今村(高橋常時参加者代理)、遠藤(北島常時参加者代理) (2名)
(オブザーバー) 木野 (1名)
4. 配付資料
P11SC-12-1 第11回水化学管理分科会議事録(案)
P11SC-12-2 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法-溶存水素」標準原案
P11SC-12-3 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法-溶存水素」に係るコメント対応一覧表
P11SC-12-4 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法-放射性よう素」標準原案
P11SC-12-5 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法-放射性よう素」に係るコメント対応一覧表
P11SC-12-6 水化学管理分科会審議の充実について
P11SC-12-参考-1 水化学管理分科会 委員及び常時参加者新旧一覧表
P11SC-12-参考-2 PWR化学分析標準に係る策定スケジュール(案)
P11SC-12-参考-3 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法-溶存水素(案)」新旧比較表
P11SC-12-参考-4 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法-放射性よう素(案)」新旧比較表
5. 議事
 - (1) 出席委員確認について
中村幹事より、出席者の確認の結果、18名の委員中15名の委員の出席があり、決議に必要な定足数(12名以上)を満足している旨の報告があった。
 - (2) 人事について
事務局より、鈴木(良)委員、瀧口委員の退任の報告があり、新たに菅井委員、久宗委員が選任された。常時参加者に関しては伊東氏、久宗氏、伊藤氏の退任の報告が

あり、新たに高橋氏、杉野氏、金氏、甲川氏が常時参加者として参加希望があり、全会一致で承認された。

また、PWR化学分析作業会で芥川委員の退任の報告があり、新たに杉野委員、甲川委員の選任が全会一致で承認された。HWC標準作業会で瀧口委員、太田委員の退任の報告があり、新たに寺門委員の選任が全会一致で承認された。

(3) 前回議事録の確認について

中村幹事より、資料 P11SC-12-1 の前回議事録(案)について確認を行い、承認された。

(4) 誤記訂正の注意喚起について

中村幹事より、資料 P11SC-12-6「水化学管理分科会審議の充実について」の報告があった。標準委員会にて書面投票の段階で、溶存水素濃度の表記に誤記があることが発覚し、再発防止対策として、分科会資料の事前配布、作業会の責任分担の明確化、第三者チェック等について説明があった。

再発防止対策において、作業会のメンバーは必ずしも第三者とは言えないため、第三者の選任の方法は考えた方が良いとの意見や複数の人に最終レビューをアサインすることではどうかとの意見が出された。

(5) 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－溶存水素（案）」に係る標準委員会書面投票コメント回答について

甲川常時参加者より、資料 P11SC-12-2 及び P11SC-12-3 に基づき、標準委員会書面投票時コメント対応について説明があった。なお、書面投票の結果、意見付保留が 3 票あったが可決している。

主なコメントは以下のとおり。

- ・ 図表の印刷上の不整合があり、対応が必要である。
→今後印刷上の不整合を起こさない為に、PDF 等画像として印刷することとする。
- ・ 誤差が 10%で良いのかとのコメントには、10%でも安全との趣旨で回答すべきではないか？
→コメントの趣旨は、誤差はそんなに大きくはないだろうということ。計算上は 10%になるが、かなり保守的な値であることを説明したものである。
- ・ 誤記発生の原因となった換算係数の 1000 を残すべきか、単位の注記を設けるか。
→係数の 1000 の単位を明記する。
- ・ 解説の式番号は不要なのか？
→JIS の取り扱いを確認し、必要に応じ修正する。
- ・ 新規の測定法が出現した場合は、取扱説明書に準じるとあるがそれで良いのか？
→検討の余地を残しておくという趣旨なので、そのように修正したものである。

(6) 「加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法－放射性よう素（案）」に係る標準委員会書面投票コメント回答について

甲川常時参加者より、資料 P11SC-12-4 及び P11SC-12-5 に基づき、標準委員会書面投票時コメント対応について説明があった。なお、書面投票の結果、反対票が 1 票あり、現状可決していない。

主なコメントは以下のとおり。

- ・ 解説 3.4.3 の「放出率」の記載は、必要か。
→解説には利用者の使用を考慮し、参考として主な核種の半減期、 γ 線エネルギー、 γ 線放出率を掲載しているのので、そのままとする。
- ・ 6.4 のタイトルで「場合」の表記はおかしいので、見直すこと。
→6.4 のタイトルを操作に戻し、a) の記載ぶりを改める。
- ・ 6.4.2 の (3) 式の表記を見直すこと。
→式の意味を表す様、「100」を分母に移動させる。

以上のコメントを踏まえ、「溶存水素」、「放射性よう素」とも、関連箇所の修文を検討の上、標準委員会書面投票コメント対応として報告する。

なお、「溶存水素」は勝村主査、「放射性よう素」は内田副主査をレビュー責任者とし、8 月 31 日（火）までに分科会コメントを中村幹事にて集約することとした。

(7) HWC 標準作業会の活動状況報告

久宗常時参加者より、HWC 標準作業会の活動状況について、説明があった。

(8) 「システム安全合同タスク」の活動状況紹介

久宗委員より、タスクの活動状況について紹介があった。6 月 18 日に第 1 回タスクが開催され、産官学から委員が選定された。本タスクでは、まず、水化学標準について議論されるが、管理値そのものではなく、どのような標準を作るべきかを議論する予定で、次の合同タスクは、9 月 22 日（水）に開催予定である。

(9) 今後の予定

次回分科会は平成 22 年 11 月 25 日（木）PM に開催することとした。

以 上